

1年間無料

## クリニカルラダー別研修オープニング記念

2023年3月までにご契約いただければ、以下①②のeラーニングを1年間無料で提供いたします。

### ①必須研修（医療・患者安全／感染予防対策）

### ②ケアスタッフ向け研修

①必須研修は2023年度中に続々コンテンツを追加いたします。

- 急変予防・対応 ●BLS ●災害対策 ●フィジカルアセスメント ●リスククライシスマネジメント ●静脈注射
- ホスピタリティ ●メンタル・ヘルスケア ●チームビルディング

## 必須研修（医療・患者安全）

各20分程度の講義を想定

監修：京都大学医学部附属病院医療安全管理部 松村 由美

内容	WHO患者安全カリキュラムガイド	講師
1 患者安全の基本	患者安全とは	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美
2 ヒューマンファクターズ	患者安全における ヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 特定病院助教 植野 司
3 安全文化の醸成	システムとその複雑さが 患者管理にもたらす影響を理解する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美
4 チーミング	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院初期診療・救急科 / 救急部 教授・部長 大鶴 繁
5 インシデント報告と分析	エラーに学び書を防止する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 助教 加藤 果林
6 リスクの理解と管理	臨床におけるリスクの理解と マネジメント	京都大学医学研究科 医学教育・国際化推進センター 講師 山本 憲
7 品質改善の手法	品質改善の手法を用いて 医療を改善する	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 助教 染谷 真紀
8 患者安全への患者参加	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻 特定准教授 岡田 浩
9 コミュニケーション	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 婦人科学産科学 助教 江川 美保
10 医薬品の安全管理	投薬の安全性を改善する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 院内講師 山本 崇

## 必須研修（感染予防対策）

各20分程度の講義を想定

監修：埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭

内容	講師
1 感染予防対策の基本	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭
2 感染対策に関する組織とルール	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 専任講師 三村 一行
3 スタンダードプリコーション	埼玉医科大学 医学部 総合医療センター 感染症科・感染制御科 川村 隆之
4 手指衛生と感染予防	埼玉医科大学 医学部 総合医療センター 感染症科・感染制御科 川村 隆之
5 感染経路別予防策	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 西田 裕介
6 針刺し予防策と対応	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 西田 裕介

# ケアスタッフ向け研修

介護の心構え、エンド・オブライフケア、睡眠の介護、身体拘束ゼロの技術、リハビリテーションの理解についてなどの介護技術プログラム。

②ケアスタッフ向け研修は新しいコンテンツを追加いたします。  
努力義務の研修や介護情報公表で確認される項目など

対象：介護職員、看護補助者ほか

監修：社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授  
公益社団法人日本介護福祉士会 元名誉会長  
一般社団法人富山県介護福祉士会 前会長

田中 雅子

1 接遇・マナーとコミュニケーション	①介護の心構え ②好感の持てる誠意ある態度とは ③信頼関係とコミュニケーション
2 安全な排泄介護と転倒転落予防	①排泄の準備 ②トイレの排泄介護 ③ポータブルトイレの排泄介護、オムツ交換
3 洗体の基礎と入浴前後のチェックポイント	①入浴の目的、事前の確認 ②衣類の着脱 ③洗体、清拭
4 安全な食事介護と誤嚥予防	①安全な食事介護、食事前の準備 ②体位変換、上方移動の介護 ③ベッド上での食事介護、口腔ケア
5 ベッド上での移動及び体位変換、起き上がりの介護	①移動介護の基本 ②体位変換、上方移動の介護 ③起き上がりの介護
6 ベッドから車椅子への移乗と座り直し、車椅子操作の介護	①移乗介護の確認ポイント ②ベッド上端座位から車椅子への移乗介護 ③分割の移乗介護、スライディングボード、座り直しの介護
7 利用者・家族との相談・苦情と、多職種における情報伝達	①多職種協働における情報伝達 ②苦情に対する解決策と再発防止策 ③利用者特性に応じた対応
8 配慮のある衣服着脱の基本と正しい清拭	①衣服着脱時の配慮 ②清拭の手順 ③清潔維持と褥瘡予防
9 介護施設における感染対策と衛生管理	①感染や予防の基礎知識 ②手指衛生、個人防護具の使用 ③環境整備、感染経路別予防策など
10 杖歩行の介護とリハビリテーション意識	①歩行の意義とメカニズム ②杖歩行の介護 ③日常生活でできるリハビリテーション
11 健康を保つための口腔ケア	①口腔ケアの重要性 ②口の中の介護と義歯への対応 ③口腔ケア時の観察とチェックポイント
12 状況の変化に応じた対応～観察して兆候に気づく！	①咳やむせ込みへの対応 ②便・尿の異常への対応 ③皮膚の異常への対応
13 認知症介護の理解と実践そして工夫	①認知症の人を理解する ②食事・入浴・排泄ケアの実践 ③困難事例の対応
14 事故発生防止	①日常的にヒヤリハットを意識する ②根拠ある客観的記録の作成 ③事故後の対処方法
15 「座る」の介護と「立てる」の介護～能動座位と座り直しの必要性	①「座る」の介護 ②座り直しの介護 ③「立てる」の介護
16 褥瘡予防の介護～圧と摩擦を考える	①褥瘡の発生とその予防 ②ポジショニングと体位変換 ③スキンケアと栄養管理、生活不活発の予防
17 「参加」の一步、外に出ること～階段やスロープの歩行と車椅子の活用～	①活動・心身機能と参加レベルの構造、外出の準備 ②屋外での歩行介護 ③屋外での車椅子移動介護
18 残存能力を奪わない介護ポイント集～利用者の特性に応じた介護～	①過介護にならないために ②様々な生活場面での事例から ③利用者特性による事例から
19 守秘義務とプライバシー保護	①個人情報とは何か ②ガイドランスの理解 ③法的側面の守秘義務
20 睡眠の介護	①睡眠のメカニズム ②健康上のリスクと睡眠の関係 ③質の良い睡眠のために
21 腰痛予防の介護の心得	①腰痛予防の姿勢 ②適切な福祉用具の活用 ③介護後の体操、ストレッチ
22 エンド・オブ・ライフケア	①症状緩和と援助 ②意思決定支援の関わり ③看取りと家族の心のケア
23 フットケアの介護	①フットケアの基本と医療除外行為 ②身体と心を支えるフットケア、ネイルケア ③フットケアとアロマの融合
24 介護過程の展開と記録の書き方	①根拠に基づいた介護過程の展開 ②今より良くするアセスメントの視点 ③伝える記録、伝わる記録、ICTによる展開
25 身体拘束ゼロの技術	①身体拘束と倫理的視点 ②拘束しない介護の工夫とその実践 ③ロボット介護機器によるリノベーション
26 リハビリテーションの理解と協働	①高齢者におけるリハビリテーション ②多職種協働のリハビリテーション ③自由気ままに生きるためのリハビリテーション

# 老健、特養義務化研修

1 身体的拘束等の適正化のための従業者に対する研修	5 高齢者虐待防止
2 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	6 褥瘡対策に関する継続的教育
3 BCP (自然災害、感染症研修②に加えシミュレーション研修)	7 認知症介護基礎研修
4 事故発生の防止のための研修	8 ハラスメント研修